



小松観光のススメ

草野・白川・高野・内藤・山口

問い：小松の観光を活性化させるには

小松とは

- ・石川県にある小松市は、日本海に面し、加賀藩の城下町として栄えた歴史と文化が豊かな地域
- ・金沢や加賀といった有名観光地に挟まれるという地理的条件
- ・空港があり、2024年3月に北陸新幹線開通



デスクリサーチをして

- ・どこ？初めて聞いた
- ・金沢と加賀に囲まれていてかわいそう
- ・自分だったら行かないかな

絶望的

現地に赴いて

- ・ご飯が美味しい！
- ・金沢より安く楽しめる
- ・なんかワクワクする！

可能性ありそう！



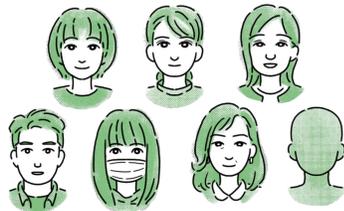
現地で感じたワクワク感があった！

有名観光地に囲まれている上に、小松自身の魅力も少ないため活性化は難しいのではないかと

インタビューを実施

インタビュー内容（一部抜粋）

- Q. 小松の1番の観光資源は？
- Q. 小松が「こうなったらいいのにな」と思うことは？
- Q. 誰かに小松観光をオススメするとしたら？



小松に住んでいる人や小松観光をしたことがある人

回答（一部抜粋）

- ・産業観光系の観光地が強みになりそう
- ・気軽に飲食ができる場所が増えたら、観光客がより長く小松を楽しめそう
- ・子供がすごく楽しんでた（小松の杜や航空博物館）
- ・小さな子供がいる人、特に男の子がいる家庭にオススメしたい
- ・大人だけでも食べ歩きなど、十分に小松を楽しむことができた

⇒気軽さと子供という部分に可能性を見出せそう！

小松市役所の職員の方々とワークショップを開催

第一回：ユーザーの声から仮説を考える



得られた仮説や気づきから立てられた新たな問い

- ・空港利用客に対するアピールとは？
- ・ファミリー層で楽しめる観光地アピールとは？
- ・カジュアルさをアピールしてゆったりとした旅を味わうためには？
- ・旅としてのバリエーションを強みにするには？

⇒キーワードの深掘りをしていく必要がある

第二回：前回の問いから施策アイデアを発散する



得られた施策の方向性

1 親も子どもも楽しめる

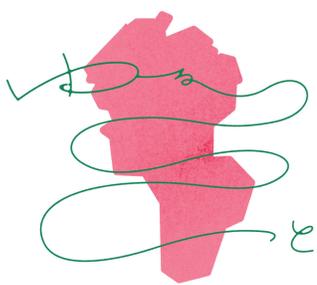
- ・大人も子どもも楽しめる旅
- ・特に子どもをワクワクさせる乗り物（新幹線、重機、飛行機等）
- ・バリエーション豊かな観光地

2 カジュアルさ

- ・金沢の”高尚さ”から離れたカジュアルさ
- ・北陸観光を行う際の休肝日的な立ち位置
- ・いい意味で旅行に付き物な緊張感がない
- ・食べ物や観光地の価格が手頃である

⇒この2点を踏まえて施策に落とし込んでいく

コンセプト



自分たちの気分にあわせて少しの時間でもカジュアルにゆるっと楽しめる街、小松

ゆるっと、小松

市の花
「梅」
CS M64 Y23 KO
R242 G126 B151

市の木
「松」
CB3 M36 Y52 KO
R21 G133 B96

デザイン応用例



小松の焼き物系グルメ×ものづくり体験

小松の“焼きグルメ”と“ものづくり体験”ができるイベント



開催イメージ



親子が分かれて小松を楽しむ新しい旅

1日親子がそれぞれの観光を楽しむ新しい旅のカたち。後日、互いの制作物で旅の思い出を持続させる仕掛けも。



余った時間や予算で小松を楽しむ

ふと空いた時間にふらっと観光ができるように観光ルートを提案



掲載イメージ

